

第 2 章

あま市の健康状況と課題

1 人口統計について

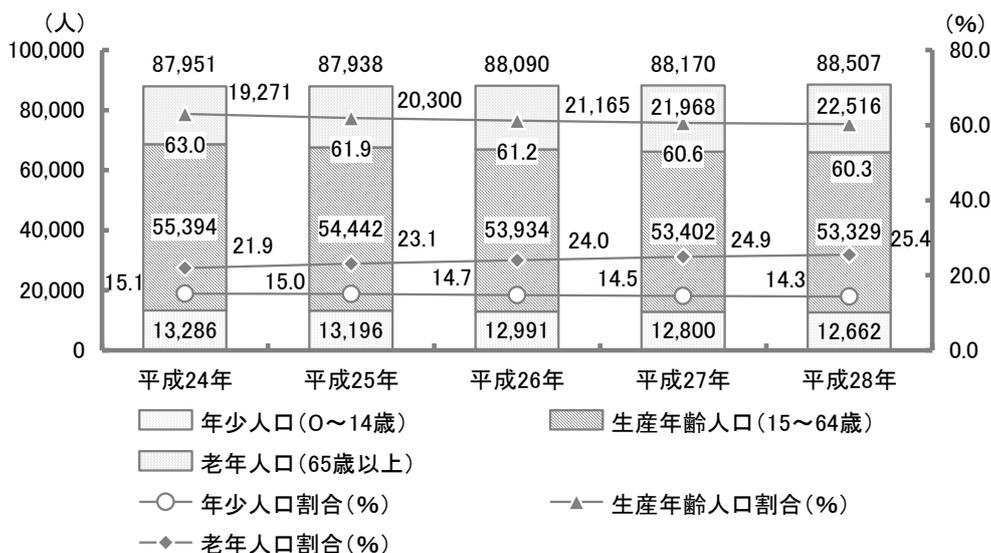
(1) 年齢別人口 . . .

本市の年齢別人口の推移をみると、年少人口（0～14 歳）、生産年齢人口（15～64 歳）は人数、割合ともに年々減少しています。一方、老年人口（65 歳以上）は年々増加しており、平成 28 年には老年人口割合は 25.4%となっています。

表 1：年齢別人口の推移

種別		平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年
年少人口 (0～14 歳)	人数 (人)	13,286	13,196	12,991	12,800	12,662
	割合 (%)	15.1	15.0	14.7	14.5	14.3
生産年齢人口 (15～64 歳)	人数 (人)	55,394	54,442	53,934	53,402	53,329
	割合 (%)	63.0	61.9	61.2	60.6	60.3
老年人口 (65 歳以上)	人数 (人)	19,271	20,300	21,165	21,968	22,516
	割合 (%)	21.9	23.1	24.0	24.9	25.4

図 1：年齢別人口の推移

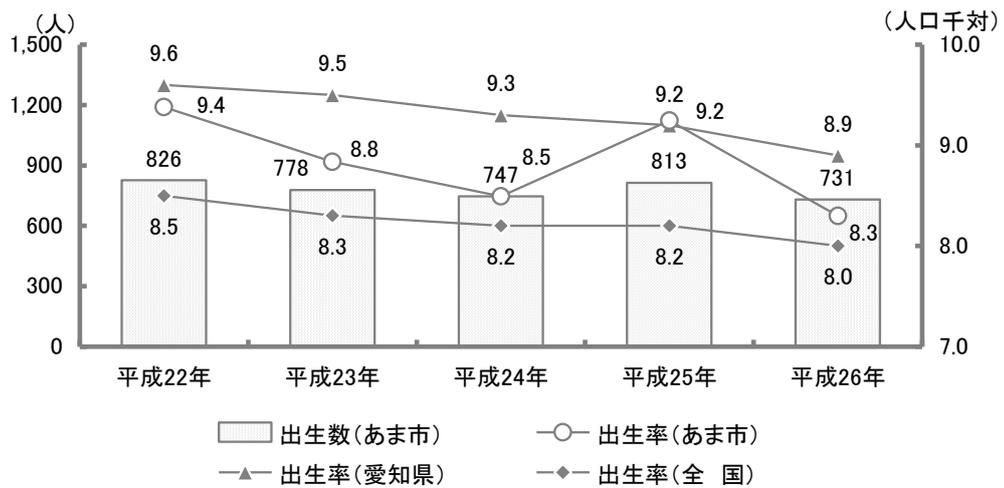


資料：住民基本台帳（外国人含む）（各年 4 月 1 日現在）

(2) 出生数、出生率 . . .

本市の出生数と出生率の推移をみると、平成 25 年に増加していますが、年々減少傾向にあります。出生率を愛知県・全国と比べると、県より低く、全国より高い傾向が続いています。

図 2 : 出生数、出生率の推移

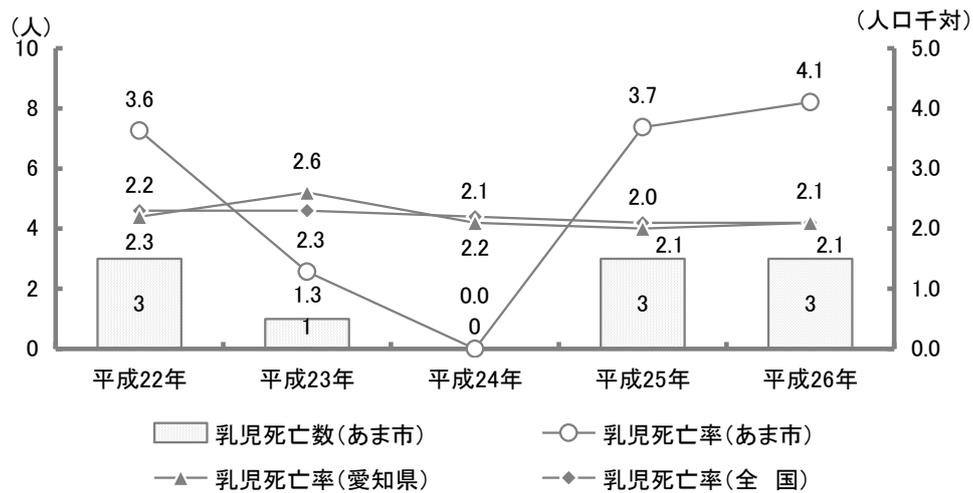


資料：愛知県保健衛生年報

(3) 乳児死亡数、死亡率 . . .

本市の乳児死亡数を見ると、平成24年に0人となっているものの、横ばいの傾向が続いています。乳児死亡率は増減を繰り返しており、平成26年には4.1となっています。

図3：乳児死亡数、死亡率の推移

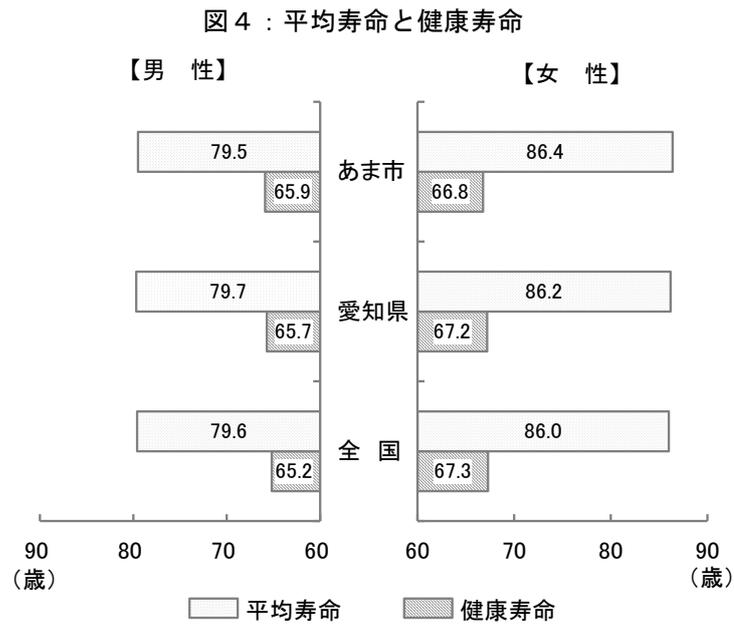


資料：愛知県保健衛生年報

(4) 平均寿命・健康寿命 . . .

本市の平均寿命をみると、男性は79.5歳、女性は86.4歳と、女性のほうが長くなっています。また、愛知県・全国と比べ傾向に大きな変化はみられません。

健康寿命については、男性は65.9歳と県・全国よりも長くなっていますが、女性は66.8歳と県・全国よりも短くなっています。



資料：国保データベースシステム

※あま市データヘルス計画より

(5) 死因別死亡割合（平成26年） . . .

本市の死因別死亡割合をみると、悪性新生物の割合が最も高く、32.1%となっており、次いで心疾患（高血圧性を除く）が17.0%となっています。悪性新生物、心疾患（高血圧性を除く）、脳血管疾患による死亡割合は56.0%となっており、半数以上が生活習慣病によるものとなっています。

図5：死因別死亡割合（あま市）

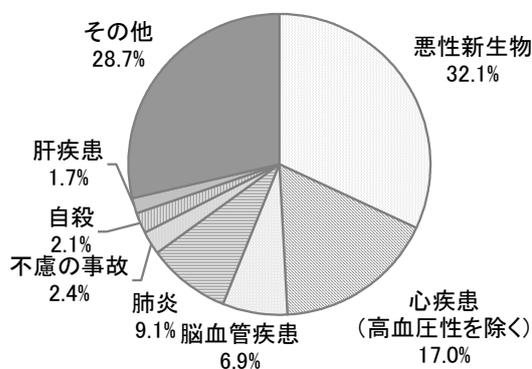
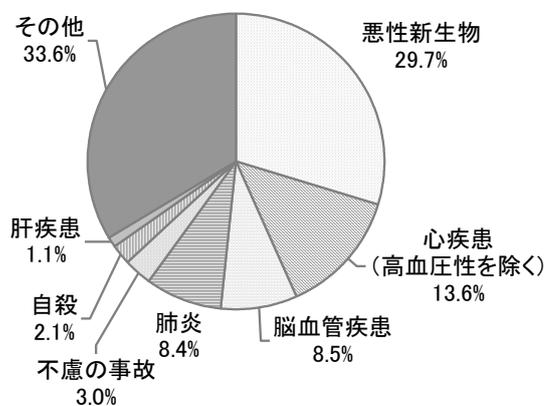


図6：死因別死亡割合（愛知県）



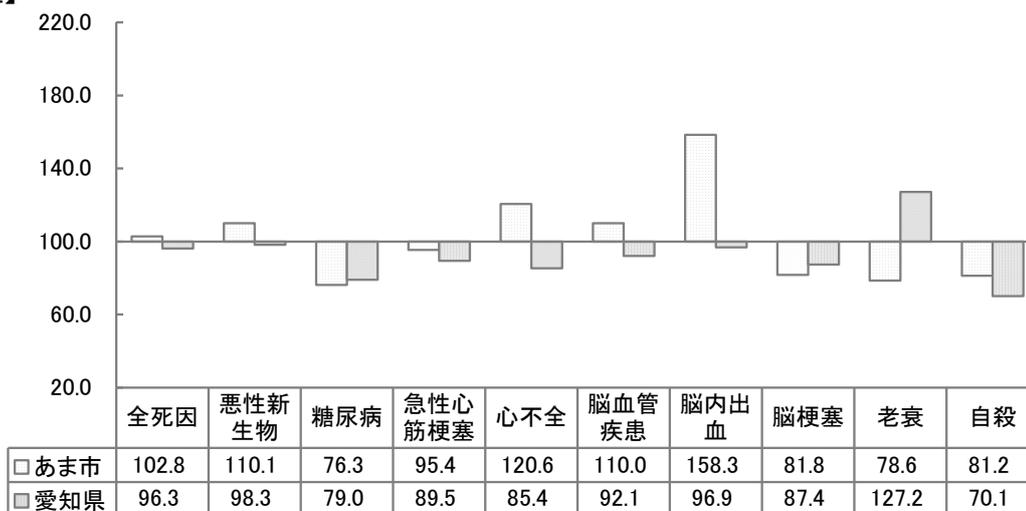
資料：愛知県保健衛生年報

(6) 死因別 SMR (標準化死亡比) . . .

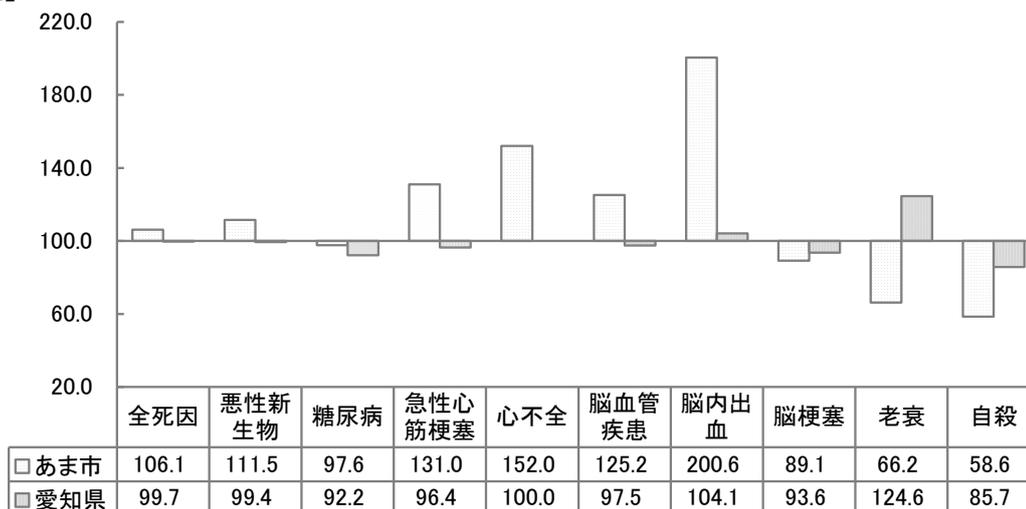
本市の死因別 SMR (標準化死亡比) をみると、男女ともに悪性新生物、心不全、脳血管疾患、脳内出血が 100 を上回っています。また、女性の急性心筋梗塞も 100 を上回っています。

図 7 : 男女別死因別 SMR (標準化死亡比) (平成 21 年～平成 25 年)

【男性】



【女性】



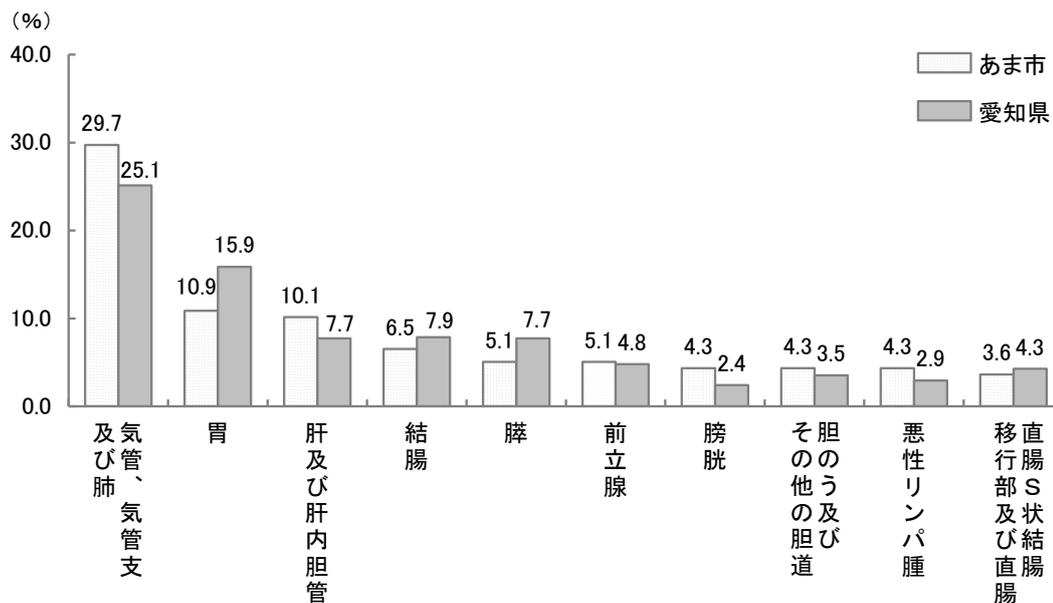
資料：愛知県衛生研究所

(7) 部位別悪性新生物（がん）死亡割合 . . .

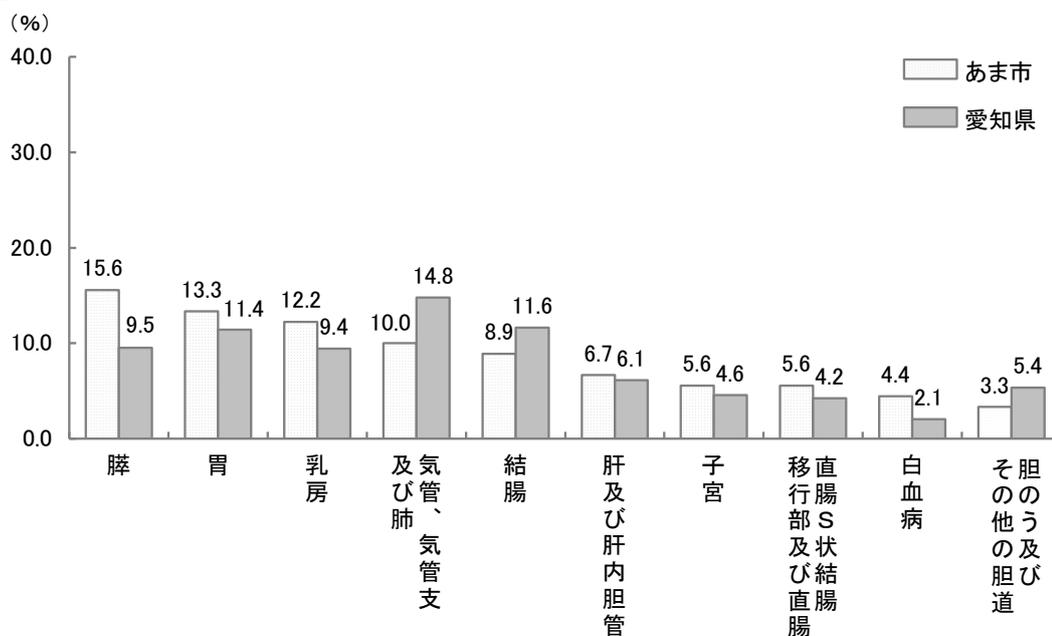
本市の部位別悪性新生物（がん）の死亡割合をみると、男性では気管、気管支及び肺が29.7%と最も多く、女性では膵が15.6%と最も多くなっています。

図8：男女別部位別悪性新生物死亡割合（平成26年）

【男性】



【女性】

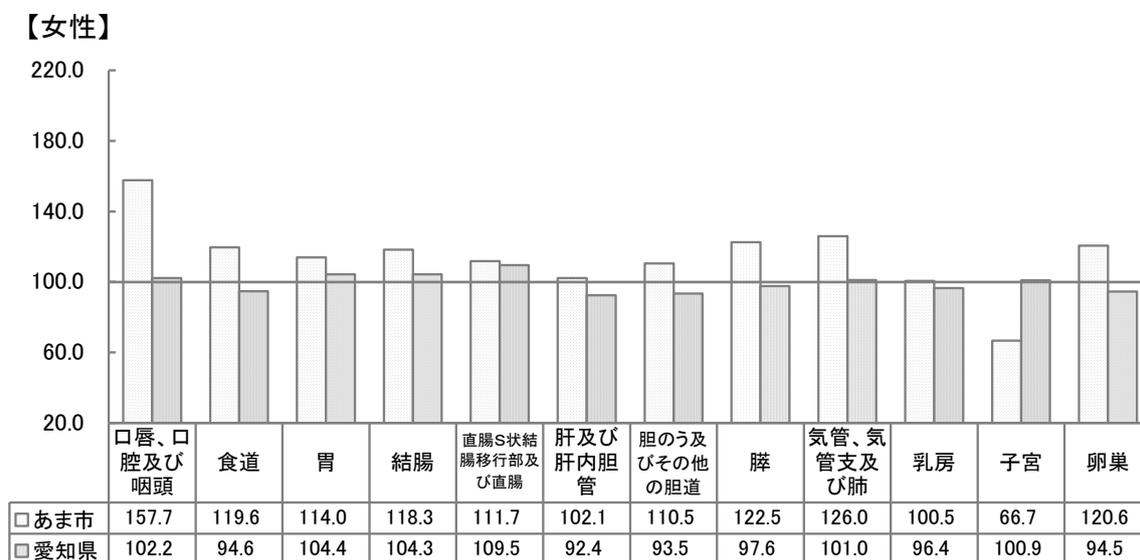
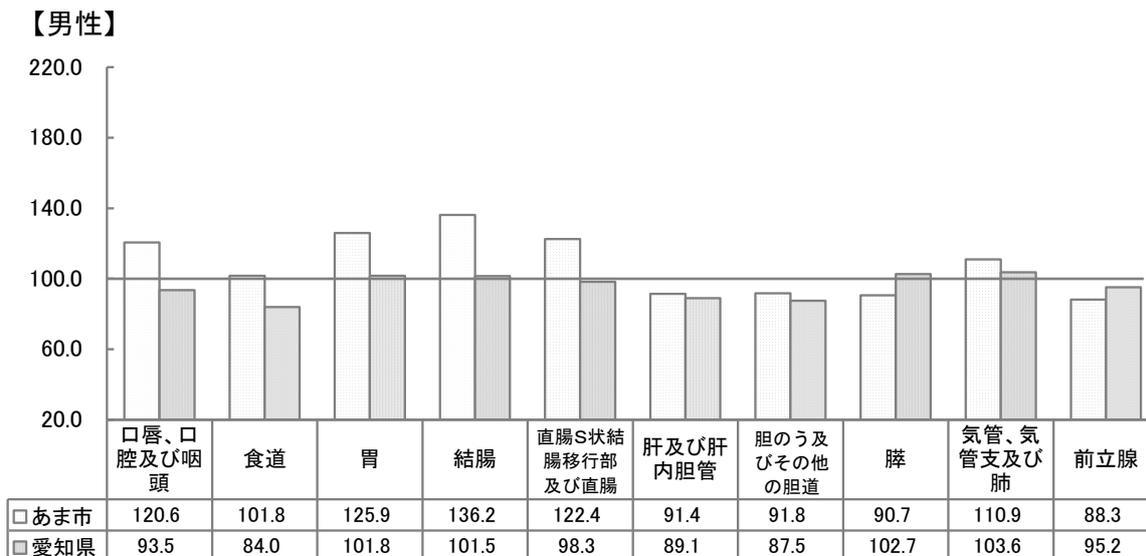


資料：愛知県保健衛生年報

(8) 部位別悪性新生物SMR（標準化死亡比）

本市の部位別悪性新生物SMR（標準化死亡比）をみると、男性の膵、前立腺と女性の子宮を除き、愛知県よりも高くなっています。

図9：男女別部位別悪性新生物SMR（標準化死亡比）（平成21年～平成25年）



資料：愛知県衛生研究所